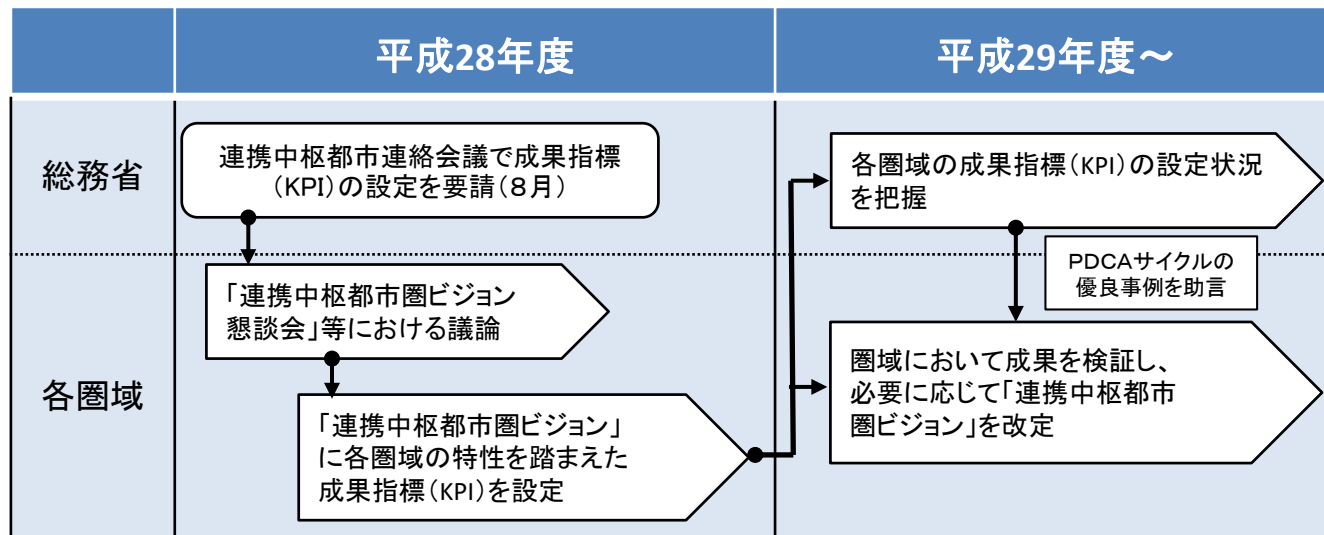


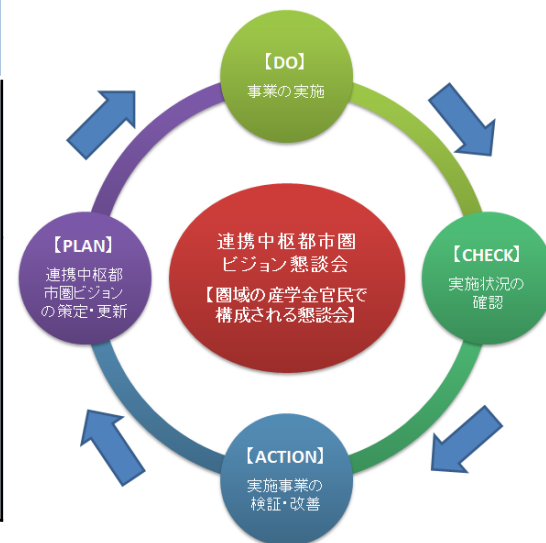
# 連携中枢都市圏における成果指標（KPI）の設定について

- 連携中枢都市連絡会議（平成28年8月18日開催）において、総務省より各圏域に対し、平成28年度中に、各圏域の特性を踏まえ、施策や事業に応じて成果指標（KPI）を設定するよう要請。
- 令和2年4月現在形成されている全ての圏域（34圏域）において、施策や事業に応じた成果指標（KPI）を設定。

## 【成果指標（KPI）の設定等のスケジュール】



## 【各圏域における施策や事業の検証】



# 施策ごとのKPI設定状況（要綱上の取組で分類）

ア 圏域全体の経済成長のけん引	設定圏域数
a 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	28
b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	31
c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	31
d 戦略的な観光施策	30
e その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	10

イ 高次の都市機能の集積・強化	設定圏域数
a 高度な医療サービスの提供	23
b 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	29
c 高等教育・研究開発の環境整備	25
d その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	12

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	設定圏域数
<b>A 生活機能の強化に係る政策分野</b>	
a 地域医療	25
b 介護	11
c 福祉	26
d 教育・文化・スポーツ	27
e 土地利用	8
f 地域振興	24
g 災害対策	25
h 環境	25
<b>B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</b>	
a 地域公共交通	19
b ICTインフラ整備	9
c 道路等の交通インフラの整備・維持	9
d 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	10
e 地域内外の住民との交流・移住促進	27
f aからeまでに掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る連携	12
<b>C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野</b>	
a 人材の育成	17
b 外部からの行政及び民間人材の確保	2
c 圏域内市町村の職員等の交流	12
d aからcまでに掲げるもののほか、圏域マネジメント能力の強化に係る連携	11

※ 令和2年3月末時点の設定状況。

# 連携中枢都市圏の取組とKPIの設定例について

※ 令和2年3月末時点の設定状況。

## 圏域全体の経済成長のけん引

### ○ 産学連携支援事業(アb)

(熊本連携中枢都市圏(熊本市))

・圏域等の事業者を対象に産学連携による新事業の創出を支援するため、産学連携コーディネータを配置し、日常的な産学連携ニーズ等に対応するとともに、大学教授等の研究シーズを地場企業の方々が学び、事業化の契機としてもらう「小規模マッチング会」を開催する。

KPI

圏域内の創業者数  
(年間)

基準値: 772人(H28) → 目標値: 1,000人(R2)  
現状値: 1,084人(H30)

### ○ 「播磨地域ブランド」の確立(アc)

(播磨圏域連携中枢都市圏(姫路市))

・播磨圏域の選りすぐった多彩な特産品や地場産品を統一感をもったブランド「豊穡の国はりま」として展開し、首都圏を中心とした国内外の消費者やバイヤーに発信。播磨圏域全体のイメージアップによる地域活性化につなげる。

※ 令和元年度からは、播磨の魅力をより明確に打ち出すため、新たに「醸す 造る 播磨」を掲げ、「醸造」をキーワードに播磨地域産品のブランド力強化を図る。

KPI

地域ブランド  
登録事業者数

基準値: 141件(H27) → 目標値: 184件(R1)  
現状値: 189件(R2.3)

## 高次の都市機能の集積・強化

### ○ 診療情報共有化事業(イa)

(久留米広域連携中枢都市圏(久留米市))

・インターネット回線を利用した地域医療連携システム(ID-Link)を用いて、情報開示施設が所有する検査、処方、画像などの診療情報を患者同意のもと、地域の医療機関が共有する「くろめ診療情報ネットワーク(愛称:アザレアネット)」について、佐賀県及び八女筑後地域とも連携しながら、その推進を図る。

KPI

参加医療機関数

基準値: 126施設(H27) → 目標値: 150施設(R3)  
現状値: 270施設(R2.3)

登録患者数

基準値: 7,365人(H27) → 目標値: 10,000人(R3)  
現状値: 16,454人(R2.3)

### ○ 広域的公共交通ネットワーク強化事業(イb)

(とやま呉西圏域(高岡市・射水市))

・城端・氷見線沿線公共交通網形成計画等に基づく各種施策の展開や万葉線のICカード導入検討など、鉄軌道の連携強化を骨格とした各種公共交通ネットワークの活性化を図る。

KPI

主要駅の  
一日あたり  
乗車人数(※)

基準値: 23,878人/日(H27) → 目標値: 23,400人/日(R2)  
現状値: 24,432人/日(R2.3)

(※) 各交通機関(あいの風とやま鉄道及びJR城端・氷見線)の主要駅における利用者数

## 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

### ○ 保育の広域利用の拡大事業(ウAc)

(長野地域連携中枢都市圏(長野市))

・多様な保育ニーズに応えることにより、子どもを産み育てやすい環境を圏域全体で構築するため、病後児保育施設の広域受入を実施。

KPI

病児・病後児保育  
事業参加機関数

基準値: 2施設(H28) → 目標値: 4施設(R2)  
現状値: 7施設(R1)

### ○ 移住交流推進事業(ウBe)

(高梁川流域連携中枢都市圏(倉敷市))

・東京・大阪で開催される移住交流イベント等への圏域市町での共同出展やお試し住宅の運営の他、関係市町が地域の特色を生かした取組を実施する。

KPI

倉敷・流域お試し  
住宅利用による  
移住者数

基準値: 9人(H27) → 目標値: 100人(H27~R1)  
現状値: 126人(H27~R1)